

まちまどの今後について

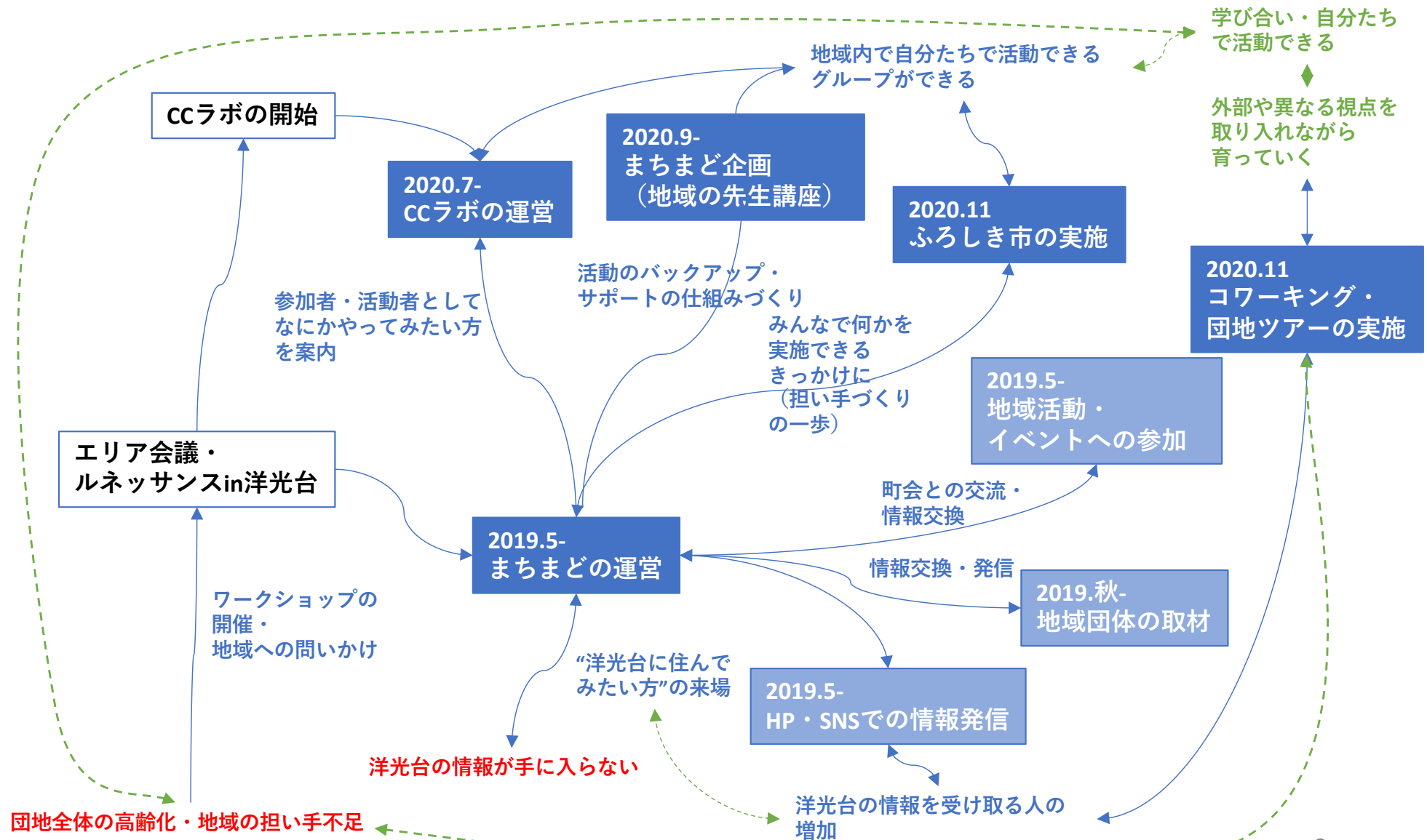
2021.5.26

HITOTOWA INC.

まちまどのこれまでの活動の振り返り

まちまどは情報収集発信からスタートし徐々に地域の方々の活動のサポート・コーディネート業務へとその活動が広がってきています。まちまどの働きかけにより、自主的な活動の後押しへと繋がり、地域の担い手を育てることを目指します。

今後まちまどサークルや
地域講座などで...



まちまどの地域参加

地域活動への参加

駅前公園プレイパークの
運営お手伝い



わっふる会議や
地域イベント等への参加



地域団体への ヒアリング・挨拶

(今年度)

いそご区民活動支援センター

磯子区社会福祉協議会

NPO法人

夢・コミュニティ・ネットワーク

いそご地域づくり塾

地域活動訪問・取材

活動の取材と情報交換を行い
お互いに協働できることを探す
仲間になって発信し合う



まちまど



まちまどの中だけで活動を行うのではなく
積極的に地域の中で情報交換をすることで
お互いを知り、繋がりをつくっていく

まちまどの動き（活動・つながりづくり）

まちまどが行う、地域活動のサポートと繋がりづくり

活動のヒアリング・機会の提供

まちまど来場者の方の
趣味や仕事をヒアリングし
CCラボの活用を促す



自ら企画・実施してもらう

自ら周囲の人を巻き込む、
地域について活動・考える
担い手に



活動の発信

HP・SNSでの活動の発信
地域内交流での情報交換

一緒に企画・実施する

地域の先生講座

企画実現に向けてまちまど
でバックアップ
講座やワークショップの
講師となり地域でスキルを
発揮してもらう



参加を促す

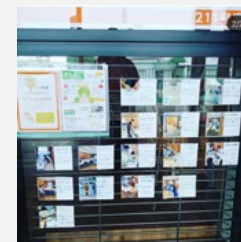
情報を届ける

地域で暮らしている方への
まちまどのサポート

地域活動をまちまどで
わかりやすく案内することで
新たな参加者や活動者同士の
繋がりが生まれる

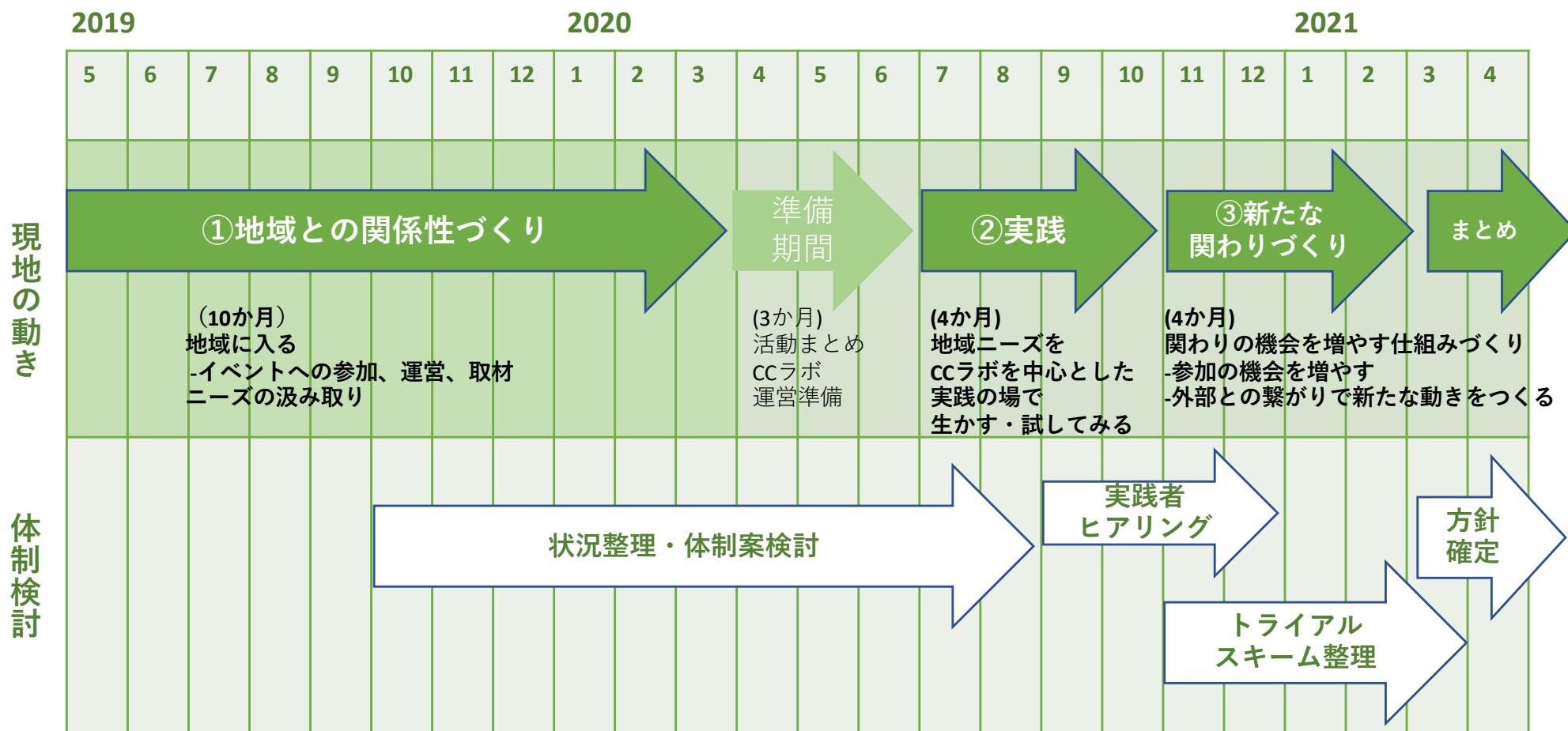


活動の見える化



→まちまどのコーディネートによって広がる活動づくり・繋がりづくりを
事業の核としていきたい

まちまどの動き



活動イメージと今後の体制案

【前回(令和2年11月)の報告】

- まちまどの体制案：まちまどの地域での自走を目指すには**収益源**の可能性として
自主的に収益を上げる仕組みと、各機関からの業務委託 が可能性として考えられる
→業務委託に頼らず、**自主事業で体制を整えることを目指す**

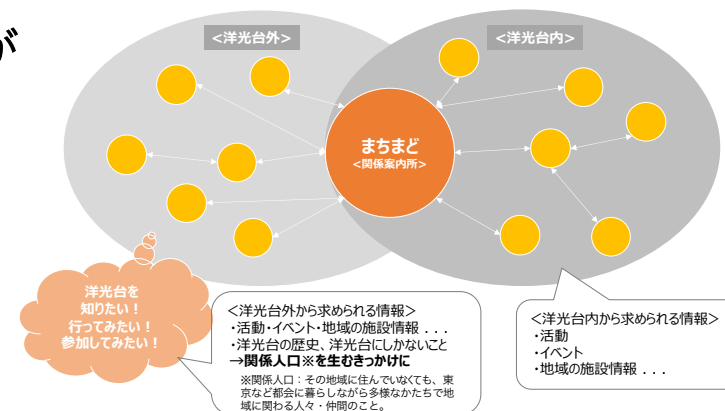
- 自主事業を、まちまどの活動対象者に照らして検討

- ①既に運営している**地域活動スペース（CCラボ）の収益改善**
- ②**勉強カフェ・コワーキングスペースについての事業性・ニーズ調査**

→①CCラボの商業利用促進のため利用金額を変更済み（5000円/日→2000円/3h）
今後の利用状況を見ながら、**未利用時間帯の利用促進と利用金額の再検討**を行う

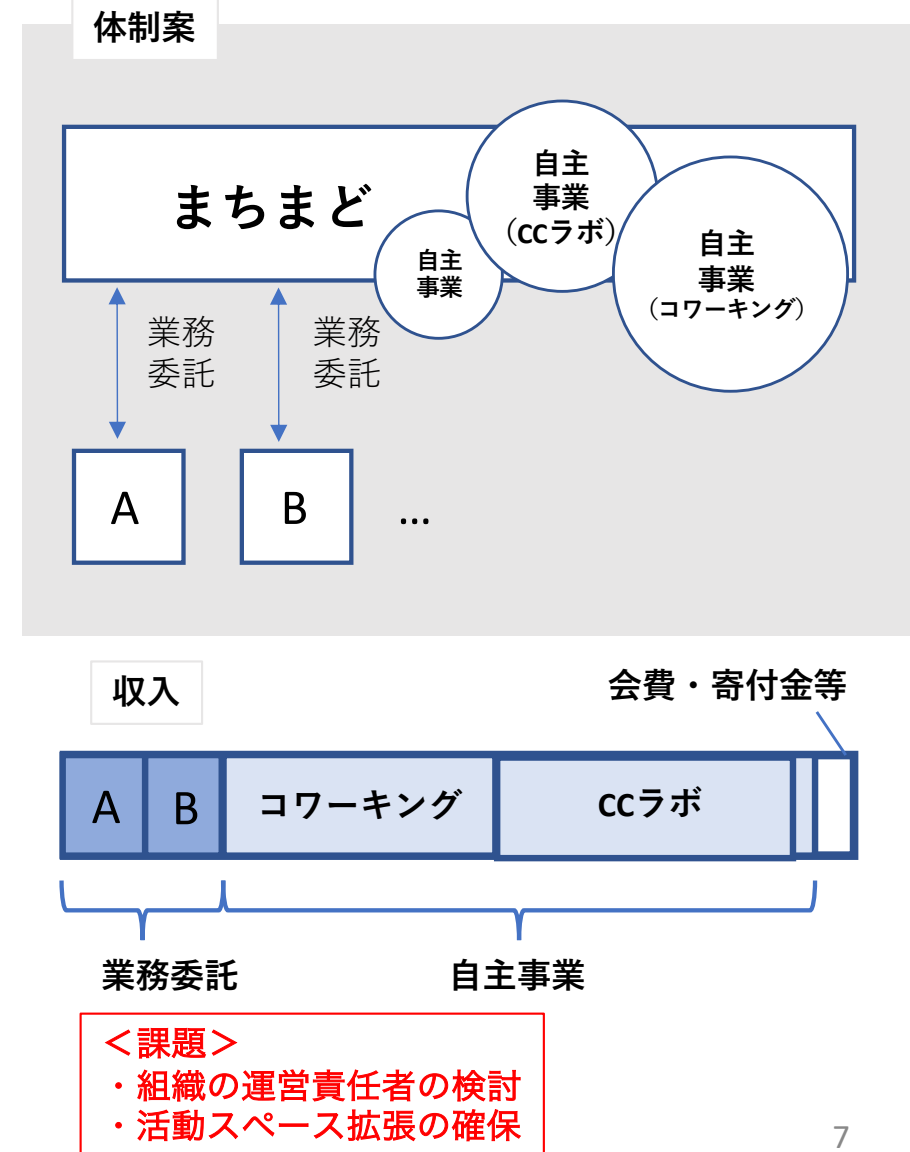
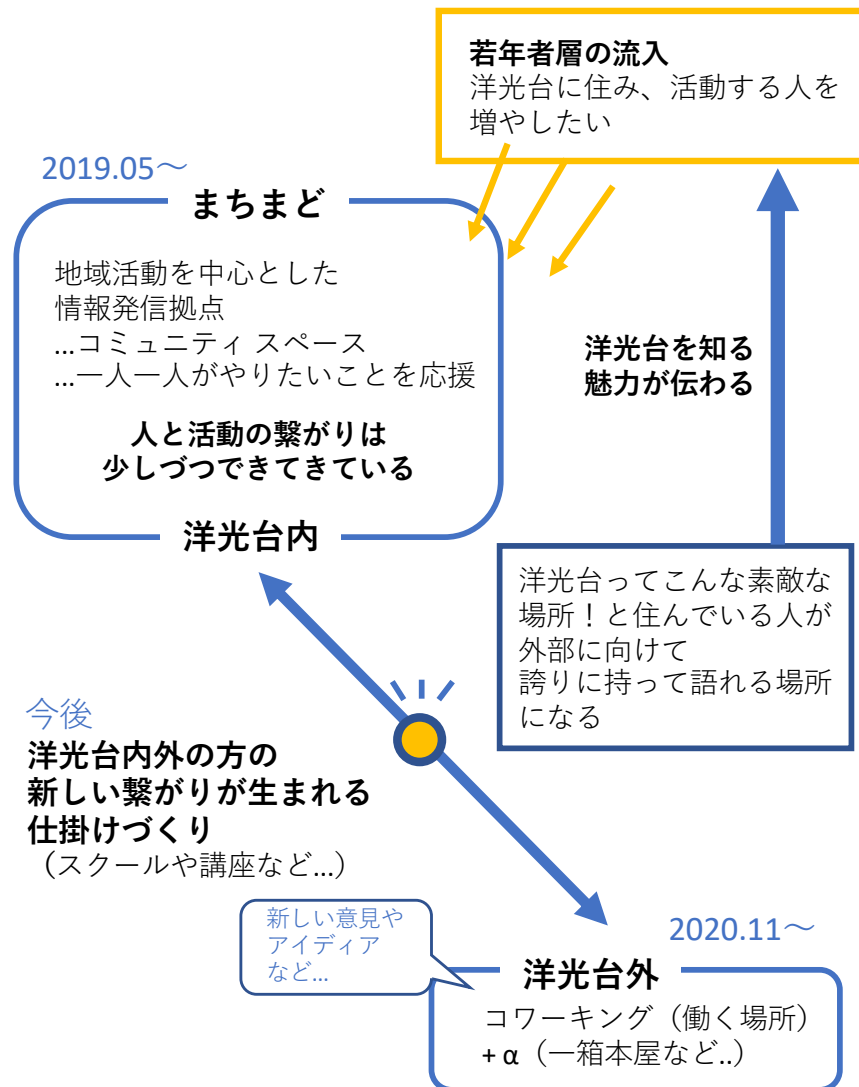
→②10・11月にコワーキングスペース運営事業者との連携で、**コワーキングの実証実験を実施**。
洋光台でのニーズヒアリングと、まちまどの活動との親和性から検討した結果
集中して仕事をするスペース < 交流・コミュニケーション+コワーキングスペース
に可能性があるのではないかと考えられる。
ただし収益面・コーディネート面について検討の必要性あり

- ★想定以上の効果としては多様な来場者との関わりが
生まれたことが挙げられる
→関係人口の増加にむけた第一歩



活動イメージと今後の体制案

まちまどのこれまでの活動とコワーキング試行実施を踏まえ、まちまどのミッションである「若年者層の流入」に向けて活動を進める（左下図参照）。また、試行実施と並行して自走に向けた体制づくりを進める。

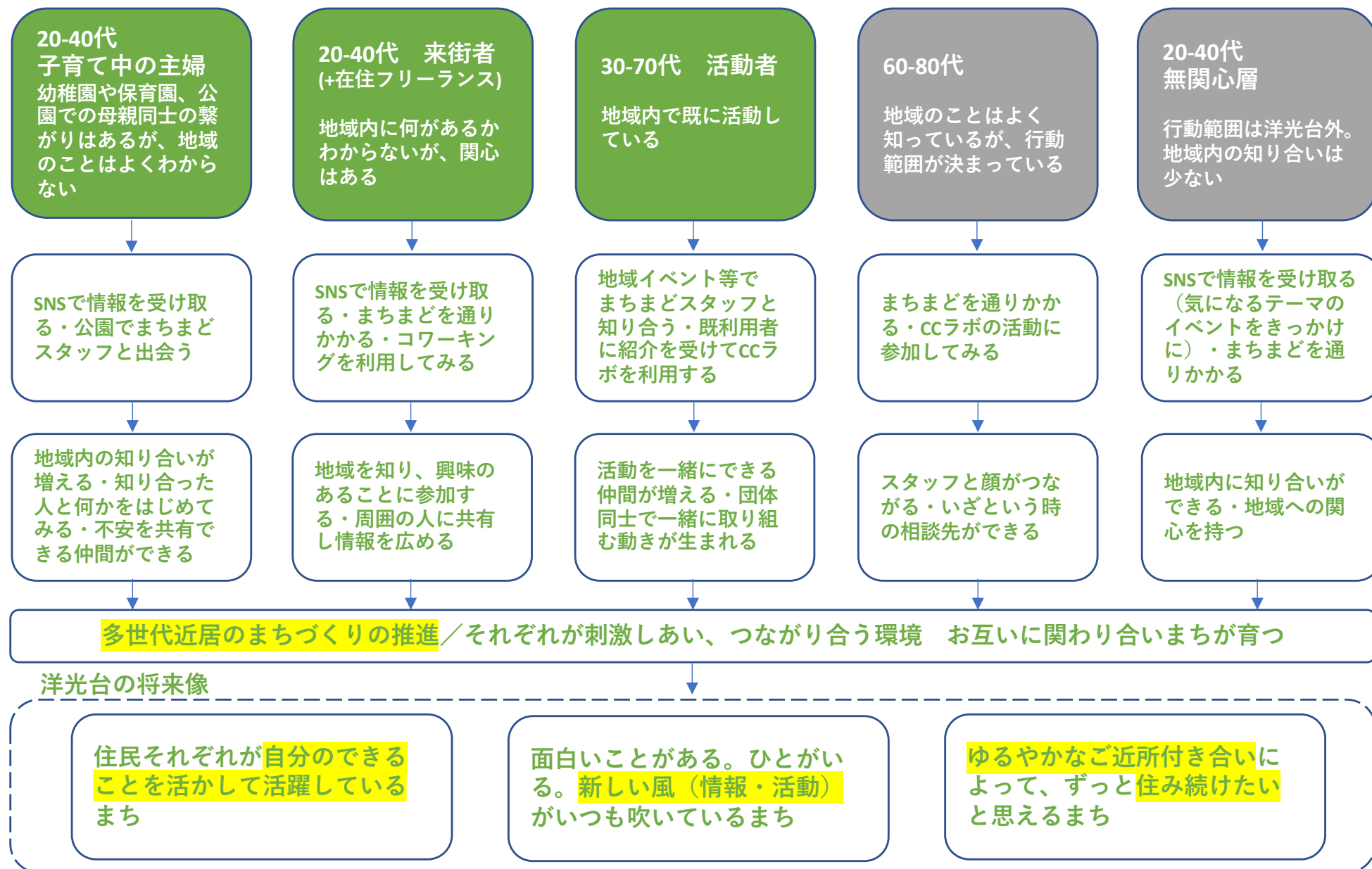


まちまどの事業目標と活動対象者

- 事業目標
団地を核としたエリアマネジメント「洋光台エリア会議」の窓口として情報の受付・交流・発信の活動により、洋光台地域の子どもの流出抑制や、若年世帯・子どもの流入（洋光台出身で、再び洋光台に戻ってくる方も含む）の促進に働きかけることで、洋光台地域の持続的な自走に繋がること。
- 特に訴求したい活動対象者
住民（2～40代主婦・会社員等就労者層）
転入検討者（2～40代・潜在的な方も含む）
- 間接的な活動対象者
若年者・高齢者を含めた洋光台住民・団体全体

→間接的な活動対象者を含めて洋光台全体へ向けた活動を続けることで
事業目標の実現を目指す

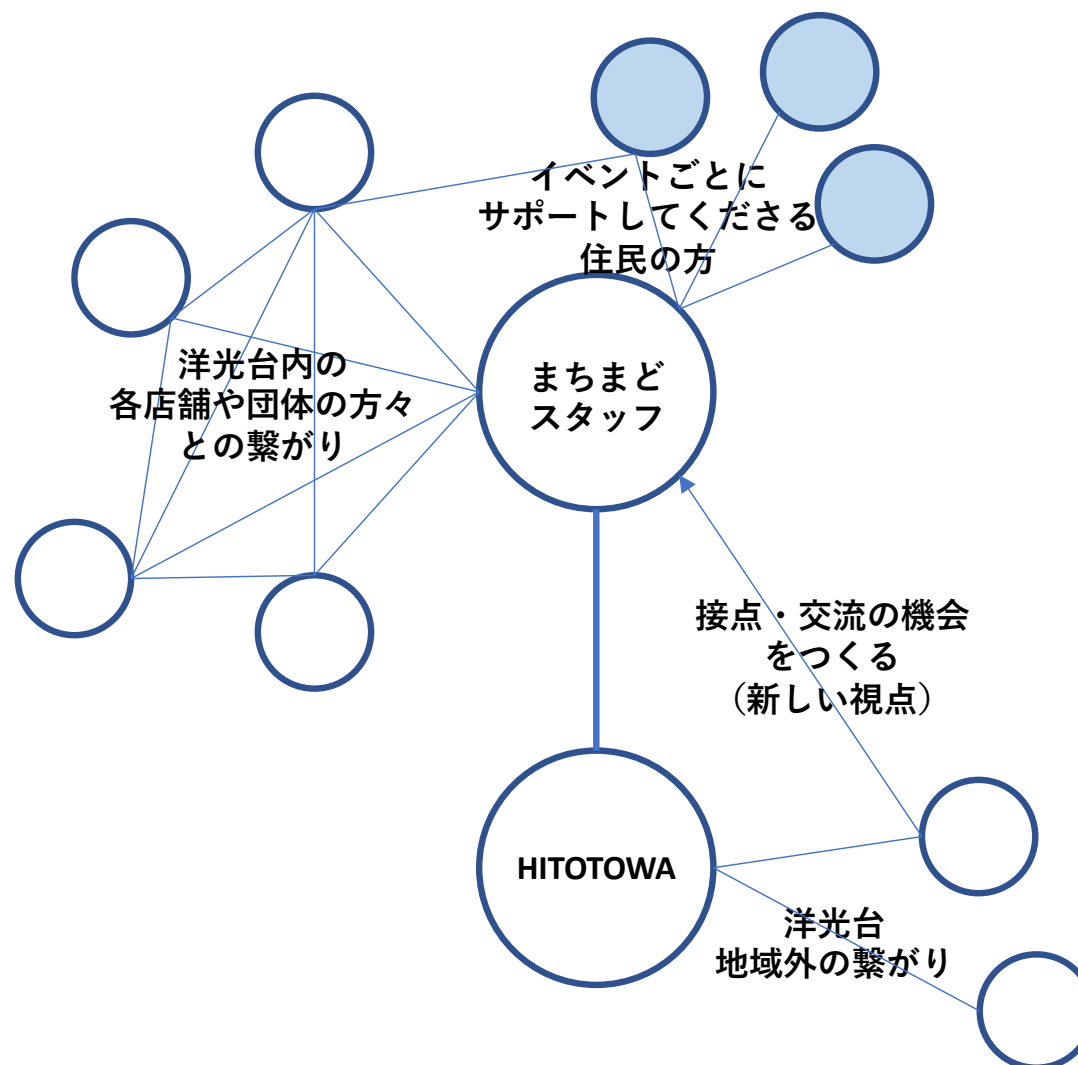
まちまどの活動による洋光台のひと・まちの変化



活動イメージと今後の体制案

検討事項 —体制—

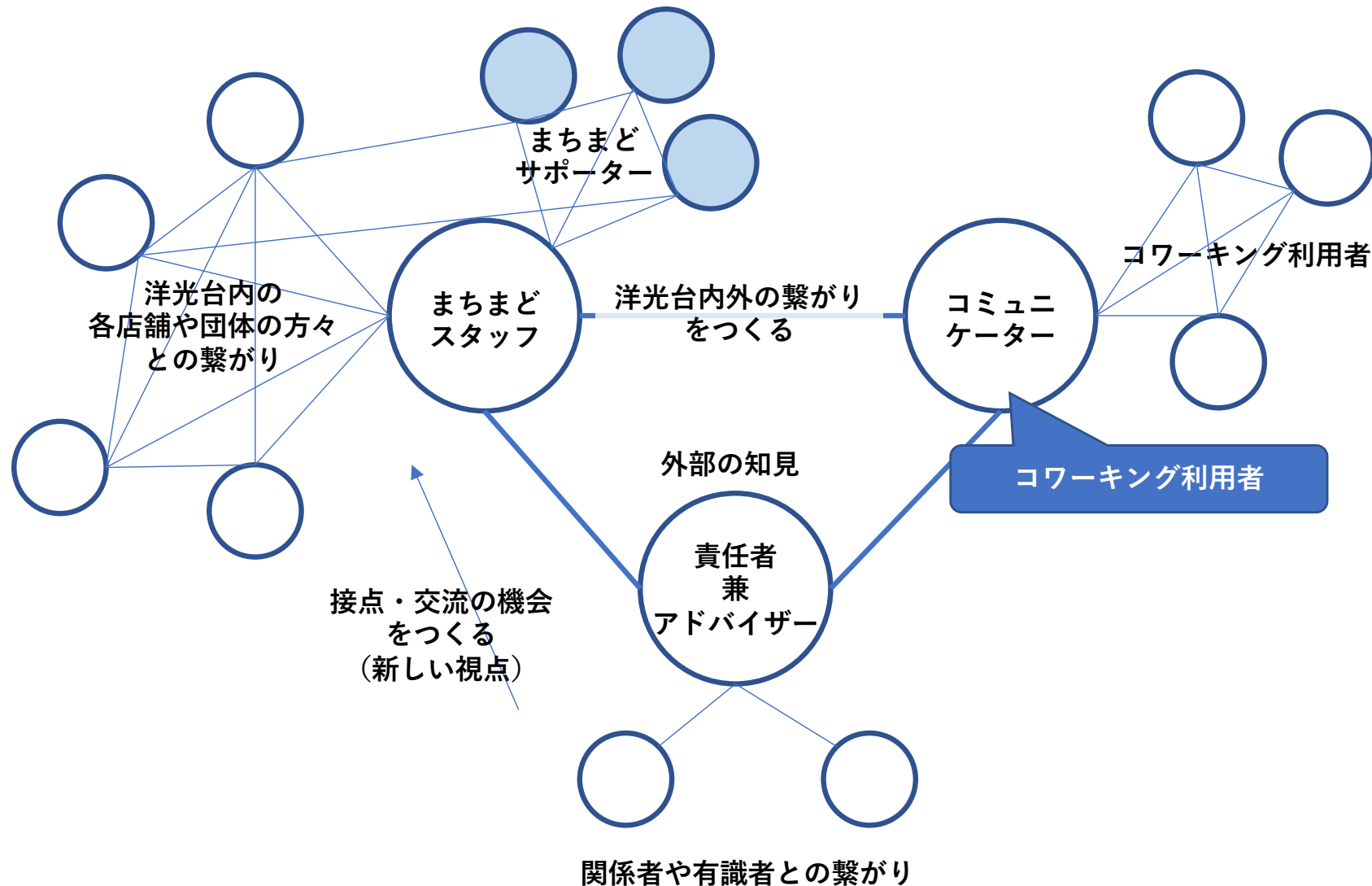
現状の体制



活動イメージと今後の体制案

検討事項 —体制—

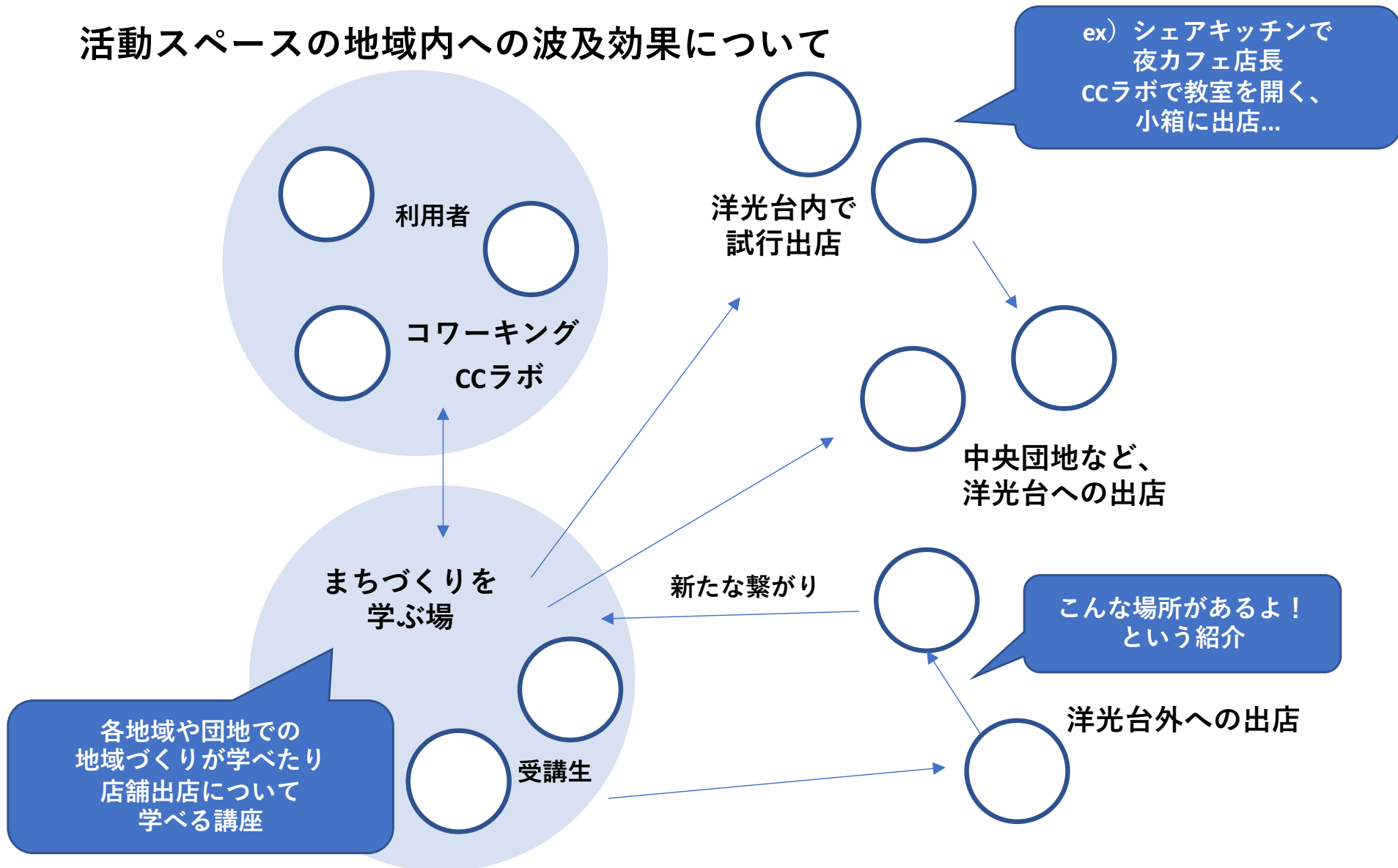
今後の体制案／組織の運営責任者の検討・外部とのコーディネートについて



活動イメージと今後の体制案

検討事項 —活動の広がり—

活動スペースの地域内への波及効果について

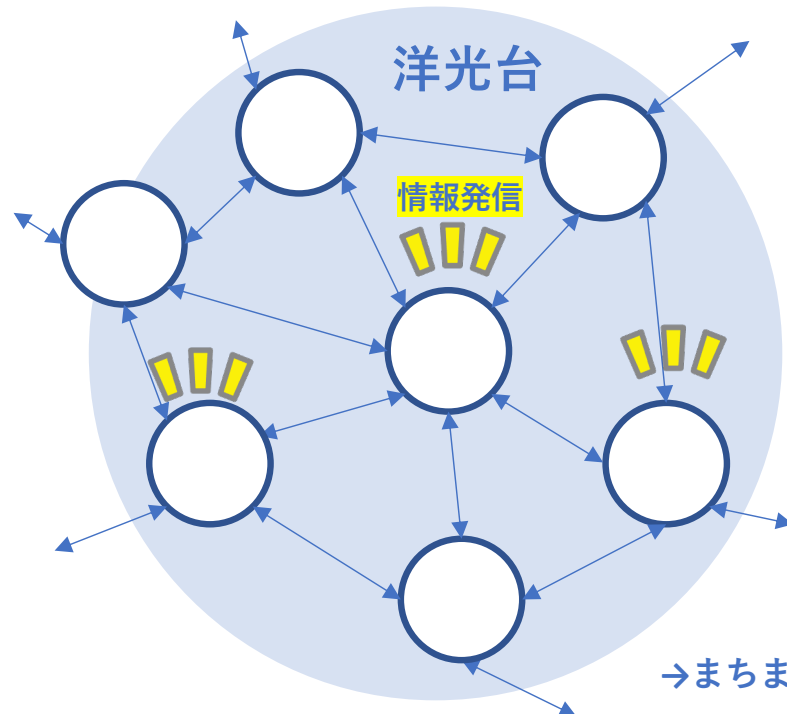


活動イメージと今後の体制案

検討事項 — 発信方法 —

洋光台の情報の発信

- 情報を集約するのではなく、
洋光台に住む人・団体それぞれが
洋光台について発信し合っている状態を
目指したい
- “洋光台” の情報の更なる可視化を目指す
- ・ 洋光台で情報発信を行う団体とwebサイトの相互リンクを行う
 - ・ SNSでの他者紹介を積極的に行う



Instagram ハッシュタグ#洋光台 についての発信

→ まちまどや様々なところで情報発信が日常的に行われている状態

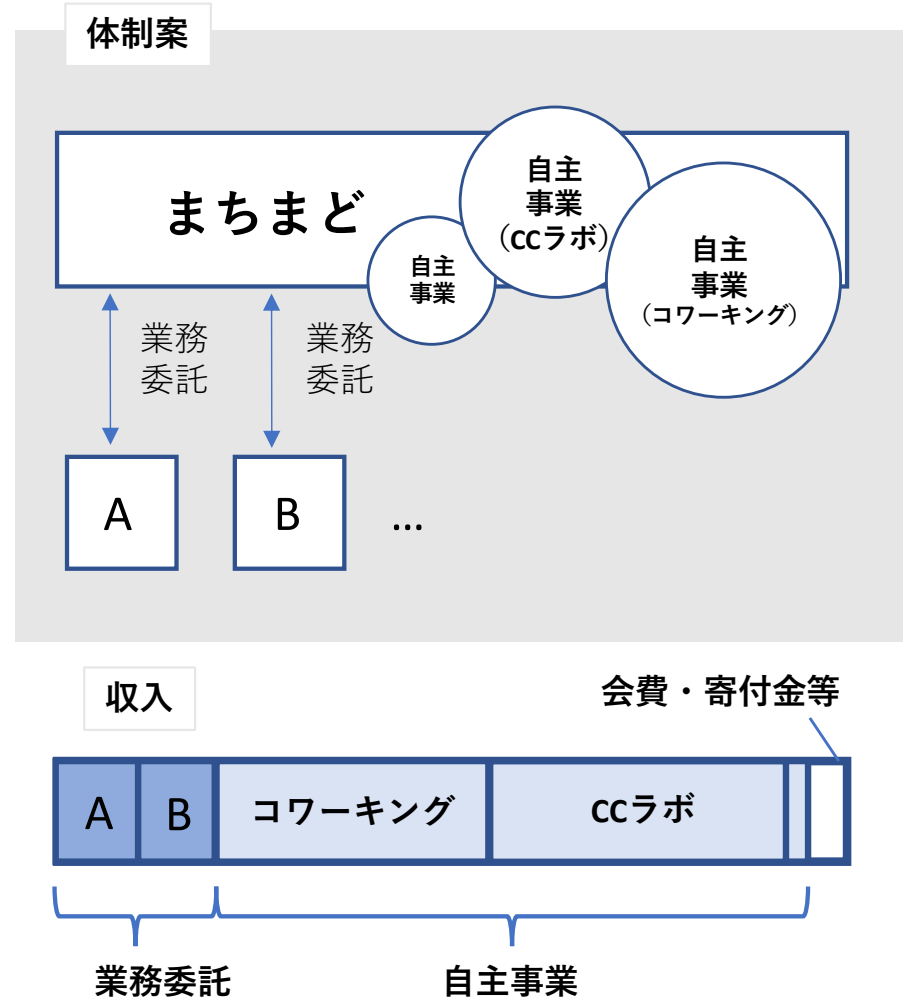
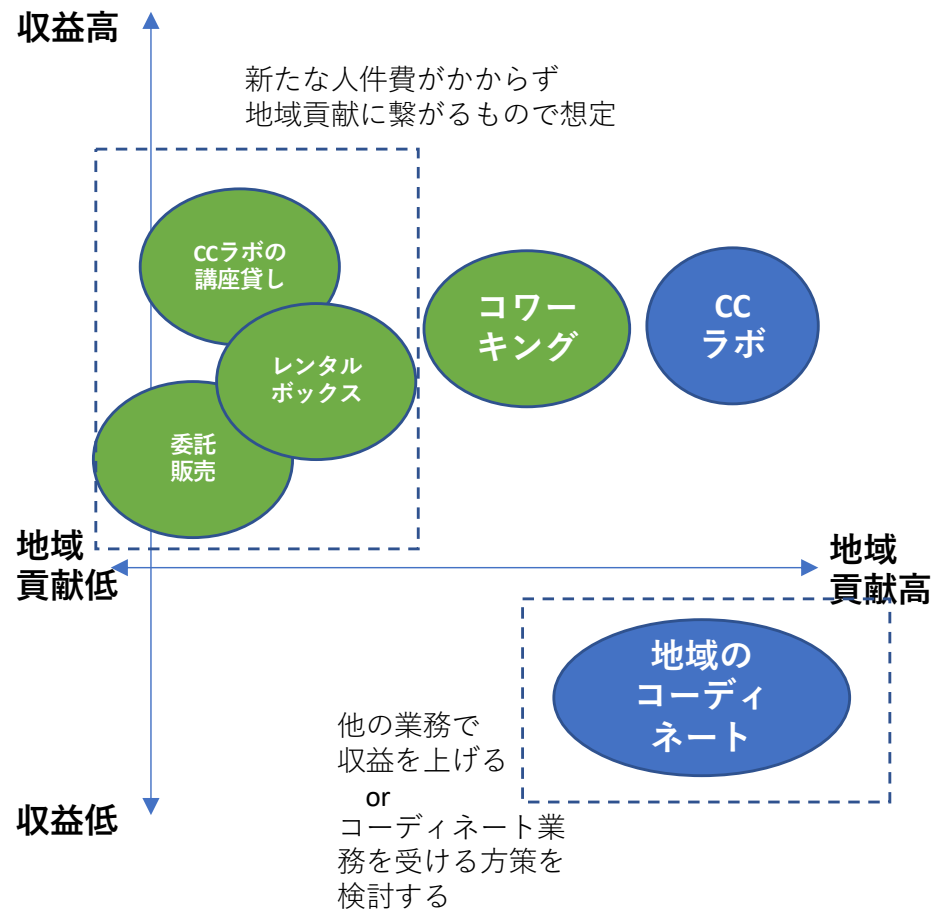
活動イメージと今後の体制案

組織の体制案

①公的組織 ②中間支援組織 ③民間組織

→②の中間支援組織として検討を進める

体制と収益案



<課題>

- ・組織の運営責任者の検討
- ・活動スペース拡張の確保

今後の検討事項

今後の検討事項

- ・ 運営スペースの確保
- ・ コーディネート機能の収益化
- ・ CCラボの収益化（特に固定貸し）
- ・ コワーキング運営支援者の調整
- ・ 組織化の検討

スケジュール案

